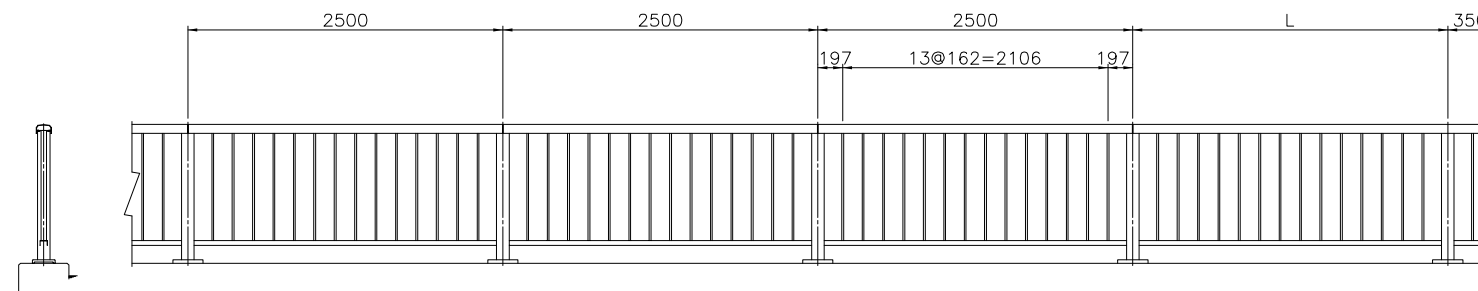
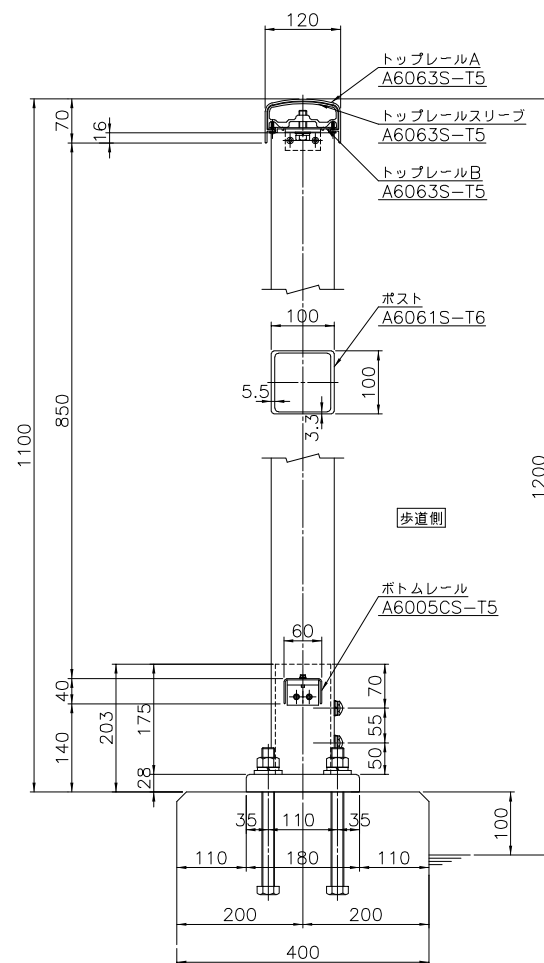


姿図 S=1/30

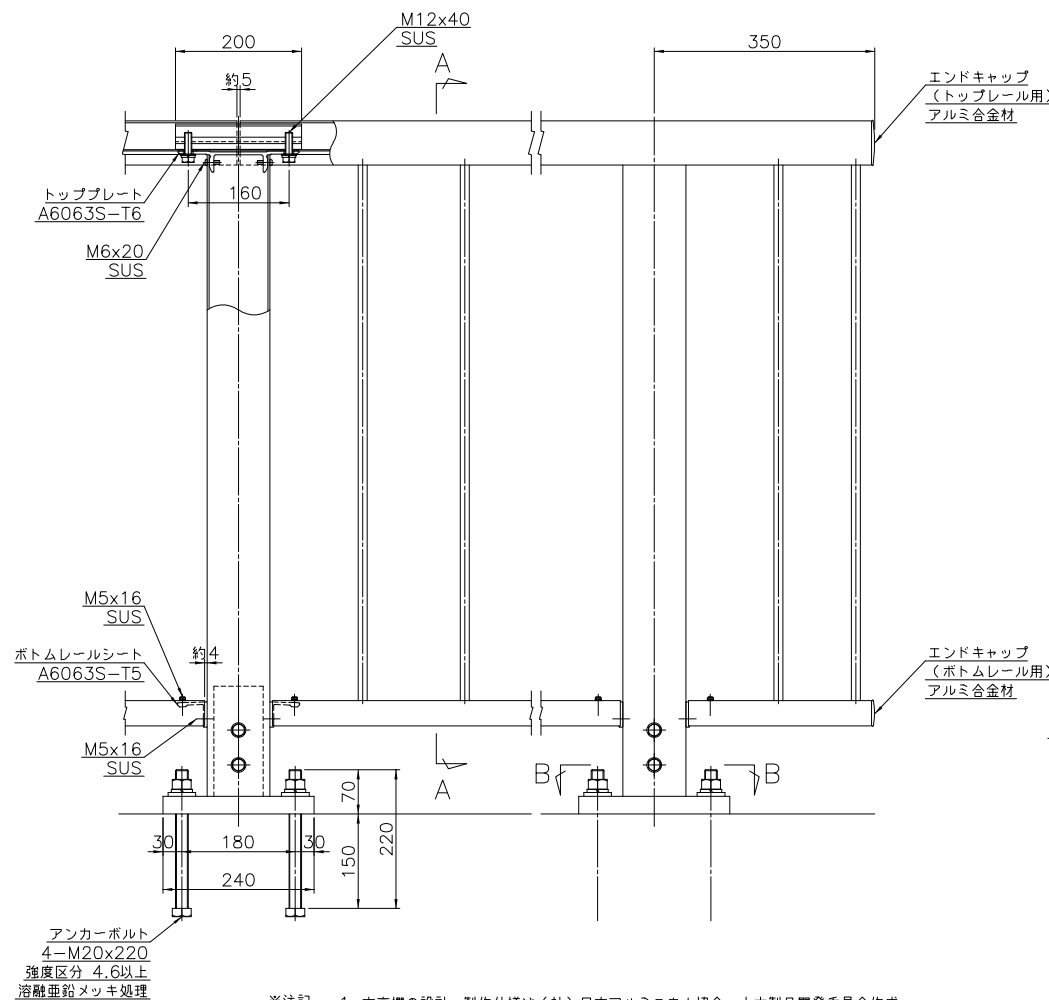


高欄取付詳細図 S=1/6

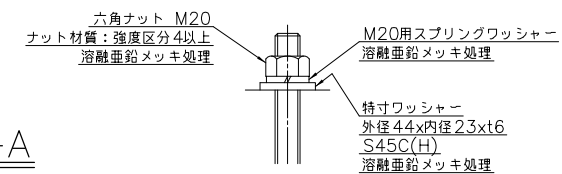


継手部

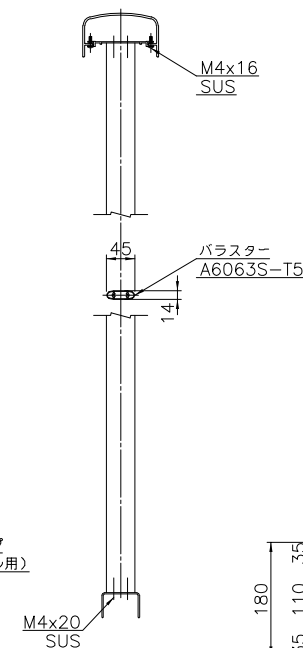
端部



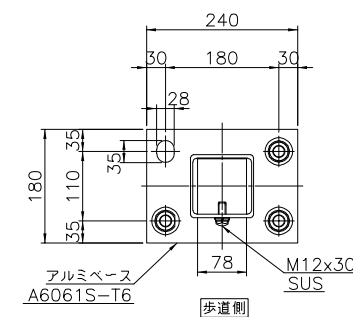
アンカーナット締め付け部 S=1/3



断面A-A



断面B-B



- ※注記
- 本高欄の設計・製作仕様は(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護構設計要領」(平成30年6月)による。
「アルミニウム合金製橋梁用防護構製作・施工要領」(平成27年3月)による。
 - 本高欄の表面処理は、アルマイト(シルバー色)仕上げとする。
アルミベースポストのサヤ管部の表面処理は生地とする。
 - 強度区分の表記なきボルト類はA2-50以上とする。ただし、ビス類はA2とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

日軽エンジニアリング(株)

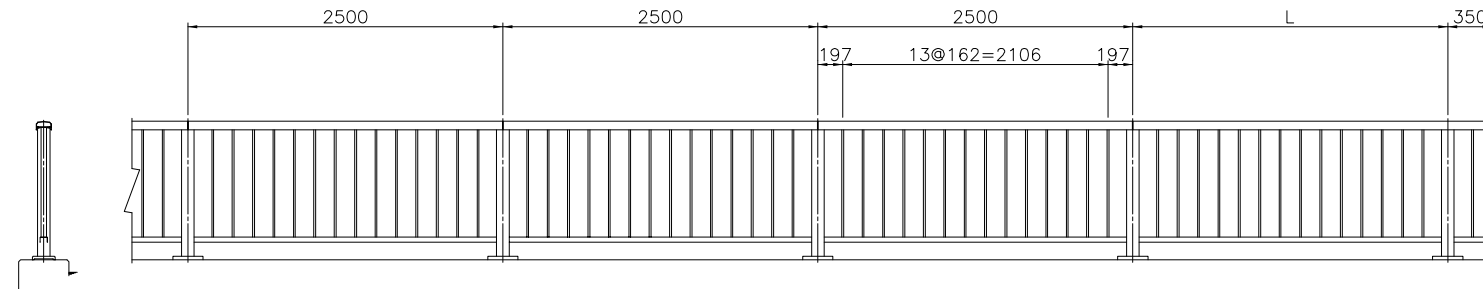
KR-1207-11K

歩行者自転車用柵 SP種

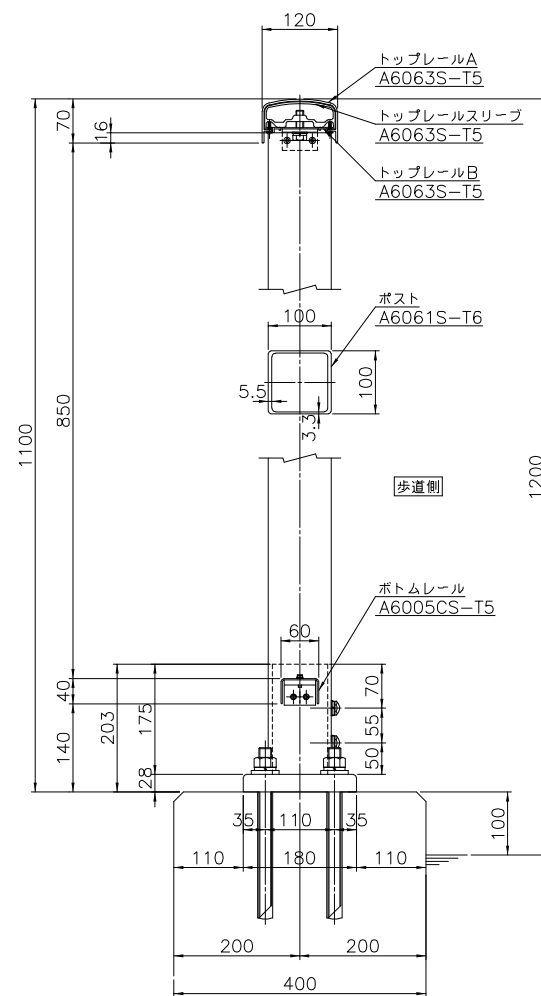
H=1100mm

ナット締め付けアンカー式

姿 図 S=1/30

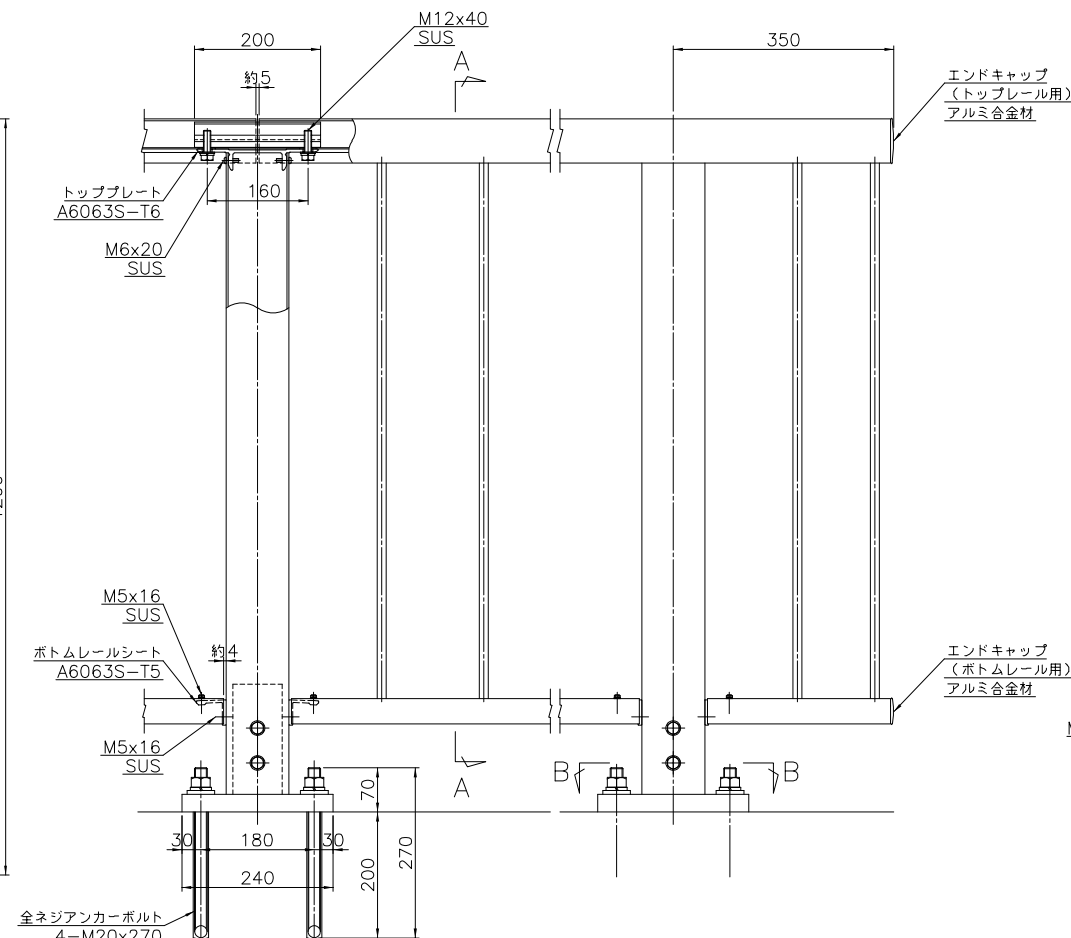


高欄取付詳細図 S=1/6

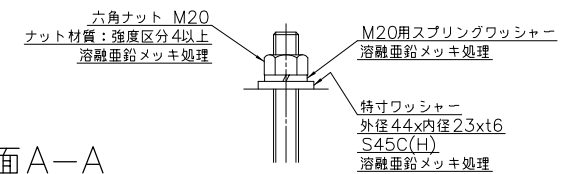


繼手部

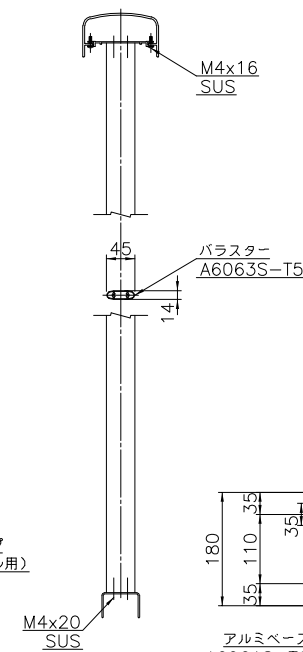
端 部



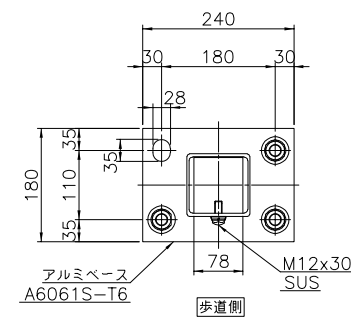
アンカーナット締め付け部 S=1/3



断面 A—A



断面 B—B



※注記 1. 本高欄の設計・製作仕様は(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製採用防護欄組立要綱」(平成30年6月)による。
「アルミニウム合金製採用防護欄製作・施工要綱」(平成27年3月)による。
2. 本高欄の表面処理は、アルマイト(シルバー色)仕上げとする。
アルミベンプストのサヤ管部の表面処理は地生とする。
3. 強度区分の表記はギボルト類はA2～5.0以上とする。ただし、ビス類はA2とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

日軽エンジニアリング（株）

KR-1207-11K

歩行者自転車用柵 SP種

 $H=1100\text{mm}$

樹脂カプセルアンカー式